

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29（2017）4・17 NO3

校長 伊波喜一

無我夢中 走り走りて 月半ば 桜の花散り 若葉に備うか

草花の芽吹きが勢いを増しています。3週目に入りました。手応えはいかがですか。上手くいっていることもあれば、そうでないこともあると思います。そういう時は一息入れて、立ち止まってみるのも悪くありません。煮詰まった時はブレイクタイムを取り、ちょっと視点を変えて、外から自分を見つめることも有効な手立てです。

私が教職に就いたのは、昭和50年代でした。赴任校は下町で、お世話好きの方が多くいました。保護者や地域だけでなく、社会全体にゆったりとした空気が流れていました。職場の先輩達も同様でした。右も左も分からない私に、とことん付き合ってくれました。20歳そこそこの経験値では分からない・対応できないことに一つ一つ関わってくれ、解決への後押しをしてくれました。解決に至る道のりは直線ではありませんでした。が、試行錯誤しながら自分の足幅で歩き、考え、確かめられたことが、私にとりまたとない教育となりました。一人一人の持ち味を引き出すには、成果を求める前に、過程を大事にしていかななくてはならないのではないのでしょうか。